

# 「古典教材の未来を切り拓く！」研究会 第1回 科研オンライン研究会

事務局 同志社大学山田和人研究室

○ **日時** 2020年9月13日（日）10：00～12：00

○ **場所** Zoomによるオンライン

○ **プログラム**

10:00～ 代表挨拶 山田和人

10:05～ 研究発表

「国語科における古典教育の現状と課題について」

加藤直志（名古屋大学教育学部附属中・高等学校）

【要旨】近年の国語の授業において、古典（古文）教材がどのように扱われ、どんな課題があるのかといった話題提供を行い、今後の古典教育の方向性を探る議論へとつなげたい。また、小学校では新指導要領が実施され、くずし字を紹介する単元が加わった。中学・高校の古典教育に加え、それらにも触れることとする。

【経歴】愛知県立岡崎東高校を経て、2007年より現職。主な業績に、「清少納言評を読み比べる—高校二年生・古典（古文・漢文）の授業実践—」（『同志社国文学』第82号）、「中学・高校における漢文教育の課題と実践—日本との関わりを重視して—」（『日本語学』第36巻第7号）等がある。

11:00～ 意見交換会

○ **参加費** 無料

○ **参加方法** 9月11日（金）までに下記のフォーム（右下QRコード）もしくは問合せ先メールアドレスへお申し込みください。追って詳細をご連絡いたします。  
[https://docs.google.com/forms/d/1ULFejWyh684OhJk5gv7bXWcCS3u9oN61bQfiri\\_0N7M/edit](https://docs.google.com/forms/d/1ULFejWyh684OhJk5gv7bXWcCS3u9oN61bQfiri_0N7M/edit)

○ **問合せ先** 同志社大学文学部国文学科 山田和人研究室  
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入  
kyamada@mail.doshisha.ac.jp

**主催** 基盤研究◎「興味関心を喚起するくずし字や和本を用いた新しい古典教材の開発に関する実践的研究」（代表者 山田和人）  
\*本研究はJSPS科研費20K00326の助成を受けたものです。

科研費  
KAKENHI

